

設立趣意書

現在の日本における相対的貧困率は13.5%に達し、さらに18歳未満の子どもの7人に1人が貧困状態にあると言われています。これらの状況から、家庭環境や経済的な理由などで、学ぶことをあきらめざるを得ない子どもがいます。過去3年間の新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、格差は目立たないところで拡大しているとも言われています。これらは「貧困の連鎖・悪循環」といわれるような状況をもたらし、食い止めない限り続いていくでしょう。

エフコープは基本理念「ともに生き、ともにつくる、くらしと地域」に基づき、「より良いくらしと社会」を実現することがエフコープの使命であり、地域課題などに対しても積極的にとりくんでいくことが求められています。格差社会と言われる現代において、「子どもの貧困問題」は組合員にとっても存在する身近な問題です。次世代を担う子どもの夢や希望を育むこと、そして持続可能な社会の実現に向けて真正面から取り組むべき課題であり、給付型奨学金制度の創設は助け合いの精神を大切にする生協ならではの取り組みと言えます。

エフコープでは第37期（2019年度）通常総代会にて承認された「エフコープ2030年ビジョン」の6つの骨子のうち「2. 人への思い」の施策「格差社会における助け合い（奨学金、生活困窮者支援）」として、奨学金給付を行う財団法人の設立を謳い、そのための社会課題の解決の一助として、奨学金制度創設に向けて、2021年より総代・組合員に意見を寄せていただくとともに、一緒に奨学金制度について検討を進めてきました。

私たちは、このように将来ある子どもが学ぶことをあきらめざるを得ない状況がなく、少しでも充実した学校生活を送ることができるよう、本財団を設立し、福岡県に住む人を対象にした返済不要の奨学金給付制度を開始します。この奨学金制度は、子どもたちの学びたい、チャレンジしたいという意欲が少しでも生かされ、充実した学校生活、安心して学業等に打ち込める環境につながると確信しています。また、子どもの将来の可能性を広げ、誰もが公平に教育を受ける機会につながればと思っています。

さらに、これらの子どもたちが社会の中で自分らしい生き方を実現できるための学びや体験の機会を、地域で活動している人々、団体、行政などと広く連携・協同して作り、応援することにもつなげていきます。地域、各団体、行政などと協力し、制度・事業運営を行いながら、住みやすい福岡をめざすことを誓い、ここに本財団を設立します。

2023年11月14日

一般財団法人エフコープ社会活動財団